

---

# ひぐらしのなく頃に 酔

白雪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ひぐらしのなく頃に 酔

### 【Nコード】

N1514Q

### 【作者名】

白雪

### 【あらすじ】

それはあの惨劇――

雛見沢大災害の裏に隠された  
鷹野三四の野望と復讐…

凄まじい惨劇の時を  
乗り越えた梨花たちは

また

新たな惨劇と

哀しい悲劇を生み出す――

ひぐらしのなく頃に

酔

## 赤晒し編（前書き）

ひぐらしのなく頃に  
の  
二次創作小説です。

この小説には暴力的表現が含まれています

作品をご覧になる際は

ご注意ください承お願いします。

## 赤晒し編

それはあの惨劇――

雛見沢大災害の裏に隠された  
鷹野三四の野望と復讐…

凄まじい惨劇の時を  
乗り越えた梨花たちは

また

新たな惨劇と

哀しい悲劇を生み出す――

ひぐらしのなく頃に

## 酔

「おはようっ。圭くんっ」

あつという間に過ぎてしまった楽しかった夏休みを終え、いつもの朝を迎える。

このポワンとした可愛い雰囲気の子は竜宮レナ。

俺の家の少し近くに住んでいて、毎朝俺を迎えにきてくれて一緒に登校している。

「おーっす。ん？なんか帽子汚れてるけど、また宝探しでもしたのか？」

「あー本当だ！えっとね、昨日は可愛いぬいぐるみ沢山見つけたん

だあ！」

可愛い笑顔で言うレナに、俺は呆れて溜め息をつく。

「またお持ち帰りしたのかよ？」

「えっへへー」もちろんっ、お持ち帰りいっつ！」

ほっぺを両手で覆ってレナはえへへと嬉しそうに笑った。

レナは俺と同じくこの雛見沢に引っ越してきた外部の人間だ。

まあ、もうとっくに雛見沢には馴染んでるけど。

忘れもしない、あの綿流しの夜。

俺たちが命を懸けて守り、築いたこの今を、俺は存分に楽しむんだ。

最高の仲間たちと共に。

「いっ!!」

例の如く教室に入ると沙都子のトラップの金だらいが俺の頭に降下。

「おーほほっ!! 全く、何度も何度も同じトラップに掛かるだなんて、二学期になってもおバカさんですのねっ、圭一さん」

「なんだと!! 言ったな沙都子!!」

しそっ。

いつもの日常だった。

沙都子のトラップに掛かり

魅音たちは笑って

俺は沙都子の言葉にムカつきながらも、幸せに溢れていた。

この幸せの時には既に、

惨劇の引き金は解かれていたのだった…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1514q/>

---

ひぐらしのなく頃に 酔

2011年1月15日21時03分発行